

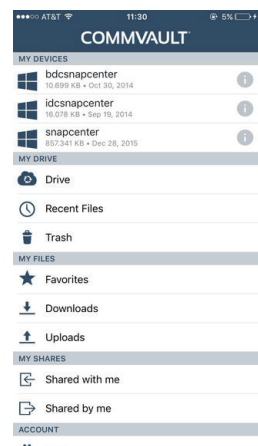
▶ Commvault の セキュアなファイル共有

ハイライト

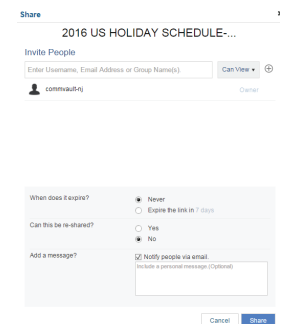
- 会社が承認したファイルの提供、および同期と共有 - Commvault の仮想ストレージ レポジトリを使用することで、エンド ユーザーはデータの所有権を失うことなく安全にファイルにアクセスして共有でき、同時に IT に対するデータの可視性と制御が拡張されます。
- 管理制御の厳格化を実現 - 「野放し」になっている会社のデータにきめ細かなポリシー制御とアクセス権設定、エンタープライズレベルのセキュリティを用意することにより、データの転送元、転送時、保存時いずれもデータが暗号化されることになります。
- データ ガバナンスとコンプライアンスの対象を拡大 - Commvault の統合されたコンテンツベースの検索、検出、訴訟ホールド ツールを駆使して、ノート PC まで対象を拡大することが可能です。
- モバイル生産性の向上 - 使いやすいモバイル アプリケーションでのアクセスやコンテンツ同期を BYOD および会社支給のデバイスでも実現しました。
- ファイルのバックアップ、データの同期と共有を簡素化 - 統合されたエンドポイントデータ保護を含む Commvault ソフトウェアの拡張によりシンプルかつ高い利便性を実現しています。

ファイルを同期して共有するシステムは、モバイル ワーカーおよびモバイル ワーカー所有のデバイスでも引き続き使用されていますが、これらのソリューションは、それ自体が効果的なデータ保護を提供していません。この状況に対応する最適な方法は、単一のソリューションがこのデータを 1 つの仮想レポジトリとして保護する、統合されたエンドポイント バックアップを備えたセキュアなファイル共有ソリューションを見つけることでしょう。これにより、エンドユーザーのコラボレーションと生産性を向上させると共に、機密データへのアクセスを制限し、企業全体の成長と組織の 21 世紀の情報ガバナンスプログラムへの移行を支援する戦略的基盤を構築することができます。

Commvault のセキュアなファイル共有ソリューションを使用すると、デバイス間におけるファイルの同期とアクセスが可能となるため、ユーザーの生産性が向上します。ユーザーは、IT 部門が管理する、全てのユーザーに向けたレポジトリである「Edge Drive」と呼ばれる仮想ドライブまたはストレージポイントを通じて、ファイルの保存、アクセス共有を行うことが可能です。ファイルとフォルダーのアクセス制御とアクセス権は、エンド ユーザーがブラウザまたはモバイル アプリケーションから制御できます。Commvault のセキュアなファイル共有ソリューションは、IT 部門によるデータの制御を再び可能にすることで、規制、ガバナンス、セキュリティ関連の問題によるリスクを低減させるのにも役立ちます。カスタム データ ポリシー設定、きめ細かいアクセス制御、堅牢な暗号化などの標準搭載の機能を利用することで、ビジネス データの安全性を確保しながら、検索および訴訟ホールド機能を拡張してコンプライアンスや e ディスカバリーの要件もサポートすることができます。



IOS 8↑または ANDROID 4.0↑向けの
モバイル アプリケーション



コンテンツ所有者は即座にアクセス権の
管理が可能

主要な機能

機能	メリット
アクセス制御と共有制御 (管理)	どの社内ユーザーと外部パートナーがアクセス権を持ち、何を共有できるのか、まただれと共有できるのかを制御します。きめ細かい役割ベースのアクセス制御を Active Directory、Domino Notes Directory、または LDAP 経由で管理します。二要素の PIN 認証またはシングル サインオン (SSO) のオプションがあります。
ファイルおよびフォルダー レベルのアクセス権 (エンド ユーザー)	<p>次のようなファイルおよびフォルダー レベルのアクセス権を簡単に割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示、編集 リンク有効期限とパスワード制御を共有 コンテンツの再共有を許可 / ブロック <p>コンテンツの所有者は、共有対象のファイルやフォルダーに割り当てられたユーザーの追加または削除を行って、アクセス権を臨機応変に管理することもできます。</p>
モバイル アクセス	ファイル、同期、共有アプリケーションは iOS 8.0 以降と Android 4.0 以降で使用可能です。また Windows 8 タブレットのユーザーはウェブ ポータルからシステムにアクセスできます。
ほぼ無制限のスケーラビリティ	数百名のユーザーから数十万名ものユーザーへ、単一の場所から世界中の数百の場所まで、Commvault の俊敏性およびウェブ規模のプラットフォームを使用することで簡単に拡張が行えます。
セキュリティの最適化	エンドポイント、送信中、データセンターのデータを、送信時には SSL 暗号化を利用してセキュリティ保護します。保存時の暗号化には、AES、Blowfish、2DES、および Ghost が使用されます。エンドポイント データの暗号化には、FIPS 140-1 および 140-2 の認定を受けた Commvault の専用モジュールが使用されます。
Edge Drive プラグイン向けの OS サポート	Windows 7、Windows 8 PRO、Windows 8.1、Windows 10、MAC OS X 10.8、MAC OS X 10.9、および人気の Linux ディストリビューションの最新レベル。
導入オプション	オンプレミスおよびハイブリッド クラウド。
ライセンス オプション	<ul style="list-style-type: none"> セキュアなファイル共有 検索アドオン <p>ファイルの同期と共有、メタデータ検索、レポート。ユーザー単位のライセンス付与。高度なコンテンツベースの検索および訴訟ホールド。ユーザー単位のライセンス付与。</p>

▶ Commvault の企業ファイル共有ソリューションの詳細については、commvault.com/endpoint をご覧ください。

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「六角形の C」のロゴ、Commvault Systems、Commvault OnePass、CommServe、CommCell、IntelliSnap、Commvault Edge、および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービス マークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVAULT 



▶ COMMVAULT SYSTEMS JAPAN 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎 2-1-1 THINKPARK TOWER 8F

WWW.COMMVAULT.COM | PHONE: 03-5747-9610 | JPSALES@COMMVAULT.COM

© 2017 COMMVAULT SYSTEMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.